

# つなぐ



## 浦安ボランティア事情

センターにはいろいろ相談が寄せられます。  
そのひとつがボランティア相談。

ボランティアをやってみたい理由として、  
以前は「もうすぐ定年を迎えるので・・・」「子育てが一段落したので・・・」  
そんな声がよく聞かれました。  
でも今は、少し様子が違ってきているようです。



センター内に設置された情報コーナーでは、  
多くの方が気軽にボランティア情報を  
を持ち帰っています。

## 専門性やスキルを活かしたい！

市内には、留学や海外赴任の経験を持つ方が多く、  
相談窓口にも、“語学力を活かしてボランティアを”  
という方が来館されます。例えば「子どもたちに英語  
を教えたい」「国際交流ボランティアをやってみたい」  
など。また、現役時代は新聞社でカメラマンをさ  
れていた方からは、写真撮影でボランティア活動を、  
との申し出をいただき、早速イベント会場に。「イ  
ベント当日は忙しく、気がつけば終了間近、そんなこ  
とも多いので本当に助かりました」との報告も寄せら  
れています。

## 浦安をもっと知りたい！ まちに関わりたい！

最近、相談窓口にいちゃった会社員のAさん。  
1ヶ月前に都内から引っ越してきたばかりで、もっと  
浦安のことを知りたいから、ボランティアに参加した  
いとのこと。自分が暮らすまちについて「もっと知り  
たい」は「浦安が好きになること」につながる可能性  
大。若い現役世代が、まちや暮らしに興味を持って、  
まちづくりに参加するきっかけを得ることは大歓迎で  
すね。

## 企業も「まちと」「人と」つながりたい！

社員が揃いのビブスをつけてごみ拾いをする光景を  
見かけることがあります。企業の社会貢献活動も年々  
活発になってきていて、センターにも企業担当者から  
問合せやマッチング依頼が届くことがあります。

清掃活動のように誰でも気軽に参加できるボラン  
ティアも変わらず人気ですが、前述のようにスキルを  
活かしてボランティアをやってみたい方や現役世代の  
まちづくりへの参加も見られます。これは、やりがい、  
達成感につながりやすい、より積極的な関わりの現れ  
とも言えます。また、企業の地域への関心もまちづく  
り、市民活動にとっては追い風ですね。

ボランティア希望者と市民活動団体とのマッチング、  
団体側の受け入れ態勢など、まだまだ課題山積ですが、  
担い手不足に頭を抱える団体にとって、ボランティア  
の存在は大きく、そのつながりは両者にとって大切。

今号では、現在活躍中の現役世代ボランティアさん  
4人の思いに触れることで、皆さんにもボランティア  
やまちづくりに興味を持っていただけたらと思います。

今年も市役所・市民ホールは賑やか！ 30団体の展示を中心に開催

## うらやすNPOウィーク ～市民活動に出会う日～



↑ 会場内の動画による活動紹介コーナー

「市民活動っていろいろあるんだ  
ね」そんな声が毎年聞こえてくる「う  
らやすNPOウィーク」。多様な活動をみ  
なさんにご紹介したいと下記の通り開  
催します。ぜひお立ち寄りください。

▶ 期間：2/2(日)～13(木)  
※途中入替あり

▶ 場所：浦安市役所 1F市民ホール



## 仕事をしながらでも 地域をもっと楽しめる

須藤 ややさん (29歳)

### 視野を広げたい！から 地域活動へ

須藤さんは生まれも育ちも浦安。現在は通信会社に勤務しながら浦安市消防団、青年会議所の活動を中心に100人カイギ、RUN伴、浦安水辺の会など地域のさまざまな活動に関わっています。

地域での活動に初めて参加したのは教師を目指し大学の教育学部で学んでいた時。このまま教育実習を経て教師になる前に、教育以外にもいろいろな世界を知りたいと思っていたところ、知人から消防団への誘いがあり、地域に根差した活動に関わることで視野を広げようと入団を決意。そこから、地域活動の面白さに目覚め現在に至っているそうです。

### 仕事も地域活動も

フル入社勤務のため、自由になる時間は限定されます。そのため、いくつもの活動を行うにはそれぞれの活動にメリハリをつけて時間を割り振ることがポイント

になり、今は消防団の活動を主軸にされています。この活動は地域の防災に役立っているという充実感とともに防災の知識を地域の人に伝え、住民と協力して防災に強いまちを目指すというミッションが“自分たちでより良いまちに”というまちづくり活動にも通じ、やりがいを感じておられるそうです。

色々な活動に関わっていて良かったと思う時はとお聞きすると「あっちの団体の人がここでもつながっている！と色々な人が様々な場所につながっているのを目にした時です。地域のつながりが広がっていくのを実感でき、何よりもうれしいです」と語ってくださいました。

今後は高齢者、育児や介護で外に出られない方が家にいながら地域につながる仕組みを模索したいとのこと。若い発想と行動力で新しいまちづくり活動を展開されることを期待したいですね。



## 子どもと共に楽しみ 地域のつながりを大切に過ごす

石黒 純平さん (50歳)

### 大人も全力で楽しむ！

小中学生2人のお父さんである石黒さんは、在宅勤務を組み合わせながらネットワークインフラ関係のお仕事をされる傍ら、おやじの会やPTAに携わり、それぞれで会長を務めるなど、精力的に活動されています。ご自身のお父様が小学校の校長を務められていた影響もあり、元々学校に対する関心は高かった石黒さん。お子さんの誕生後、地域に対する興味がさらに深まり、入学を機におやじの会での活動を始められました。

おやじの会ではデイキャンプや防犯パトロールなど、地域とも関わるイベントを企画。「おばけやしきで使う牙を、歯科医が本業並みに力を入れて制作してくれたことが印象に残っています」と笑顔で話し、大人たちも全力で楽しまれている様子をうかがい知れました。

連絡手段が多様になり、コロナ禍を経て在宅勤務の方も増え、お父さんたちも地域に関わりやすくなった

今、「ぜひお子さんが小さいうちに、学校で一緒に過ごす時間を楽しんでみては」とお話くださいました。ご自身の経験から、「普段は親がいない学校だからこそ、そこでの時間は思い出に残る」そうです。

### 仕事だけでは得られない地域でのつながり

昨今大きな災害のニュースを見聞きする中、地域の関わりがますます大切だと感じ、自治会にも加入。すると、おやじの会、サッカーや野球チームのコーチなど、それぞれ複数の団体に属する方々との出会いも自然と増えていきました。世代や業種を越えたつながりは、「仕事だけでは決して得られない貴重なもの」。地域のネットワークの広がりが、石黒さんの活動を支え、笑顔の源となっています。

(市民ライター 武田めぐ)



## 「好き」と「スキル」を活かして 地域貢献

高坂 徹さん (41歳)

### 国際交流ボランティアで地域貢献

高坂さんは電機メーカーの会社員として、また、小学生の子どもふたりの父として多忙な日々を送りながら、「UIFA」にて日本語教室のボランティアを始めました。学生時代から海外に興味があり、アメリカへの留学経験もあります。留学時に現地の人からボランティアで英語を教えてもらっていたので、自分もいつか恩返ししたいと思っていました。

40歳になるタイミングで自身を振り返り、「これまで10年以上住んでいるこの浦安で、外国人をサポートしたい」と思い立ちました。ちょうどそのタイミングで、「UIFA」主催の日本語学習支援ボランティア養成講座の参加者募集の記事を見つけて受講。現在は、外国人への日本語学習サポートや、国際交流の活動に取り組んでいます。

### 家族、仕事、ボランティアの相乗効果で人生が充実 活動する中で、UIFA のイベントと子どもたちの習い

ごとの送迎時間と重なることもありますが、事前に家族と予定を調整する中で活動内容を家族に話したり、これを機に子どもがひとりで通えるようにと自立を促す機会にしたりするなど、ボランティアを楽しむ背中を子どもたちに見せながら、子どもたちの成長につながる機会にしています。

一方で、団体の会議に子連れで参加する場合もあり、柔軟に迎え入れてくださる仲間みなさんのおかげで、家庭と両立しながらボランティア活動でのやりがいも感じています。

「自分が好きなことに取り組むことによって、地域貢献にもつながったのがうれしいです。活動を通して学ぶことも多く、仕事にも活かせる経験を得ています」とのこと。ボランティアをすることで家庭や仕事、地域との関わりにもプラスの影響があり、人生の充実感がさらに高まりました。

\* UIFA：浦安市国際交流協会

(市民ライター 西橋友理)



## 浦安が好き このまちなら大丈夫と思える地域にしたい

遠藤 母都子(もとこ)さん (48歳)

### 縁に導かれてまちづくりの世界へ

遠藤さんはご主人の地元である浦安に引っ越してきて以来、在宅ワークや福祉施設勤務などの仕事をしながら、「境川にこいのぼりを泳がせる会」、「浦安水辺の会」、「浦安市カヌー協会」などの市民活動に参加しています。きっかけは“じゃんけん”に負けて、たまたま自治会の役員になったこと。そこで出会った人たちとのご縁によって活動の幅が広がってきました。

「浦安ってこんなに面白いまちなんだということを教えてもらいました。市民団体として市と対等な立場で連携することで、まちでの暮らしがどんどん楽しくなっていくのを実感しました。誰かが気にかけてくれるから安心という地域にしていきたいです」とお話ししてくださいました。

### 心打たれる瞬間が不意に訪れる

一方で、家事、育児や仕事もある中で、ときにオー

バーワーク気味になることもありますが、最大の理解者であるご主人のサポートのおかげで乗り越えてきました。「やりがいを感じるのは、例えば、団地の子どもが地域の中にその子ならではの役割や居場所を見つけて生き生きとしている姿を見たときです。このような感動的な瞬間に立ち会えると、溜まった疲れがすべて吹き飛ばされます」とのこと。

遠藤さんはまちづくりにおいて大切なことは「地域の恒例行事や団体のイベントのために人が集い、これまで引き継がれてきたものをまた次へと引き継いでいく中で築かれていく地域の人たちとの信頼関係」にあると遠藤さんは考えています。活動する中でふと出会う感動と、感動を分かち合える仲間がその時その場にいることが、遠藤さんの活動の原動力となっています。

(市民ライター 西橋友理)



## うらやすNPOウィーク～市民活動に出会う日 参加団体紹介

**期間：2/2(日)～13(木)**  
土曜・祝日を除く

**場所：浦安市役所 1F市民ホール**

■展示：前半：2月2日(日)～2月6日(木) 午前

浦安介護予防アカデミア\*  
パルレ

浦安おもちゃの広場\*

手工芸のあむあむ

浦安みちのく会

浦安お茶っこ会

認定NPO法人発達わんぱく会\*

ナナメちゃん

きょうだいの会 ぞうさん組

NPOスマイルー

うらやす景観まちづくりフォーラム\*

浦安子ども劇場\*

Civic Tech URA-CIMA (シビックテック ウラシマ)\*

視覚障害者と共に「つむぐ」

まちプラ連絡会



■展示：後半：2月7日(金) 午後～2月13日(木)

チーム530

HSP/HSCリンクパートナー「Heart Smile Present」

一般社団法人スマイル子ども食堂浦安\*

特定非営利活動法人アリスのうさぎ

浦安子どもミュージカル\*

浦安水辺の会

浦安三番瀬を大切にすの会

UDFC \*

おやこの広場・ほこほこ\*

一般社団法人日本ウクライナパートナーシップ協会\*

特定非営利活動法人 たすけあいとはぼぼ

浦安ドキュメンタリーオフィス\*

お助けねっと・こんべいとう\*

NPO法人ゆい思い出工房\*

浦安ネットラジオちょあへよ.com

■動画(15団体)

家族・子育て相談室「ゆずり葉」、不登校専門サポート☆Wish

上記展示団体のうち、\*がついている団体

※専用サイトでもご覧いただけます

URL <https://shiminkc.wixsite.com/urayasu-npoveek>



## つなぐプロジェクトの冊子リニューアルのお知らせ



つなぐプロジェクトとは、市民活動団体と地域活動団体、学校、事業者、行政などが互いのアイデアや資源を出し合い、連携してプログラムを実施すること。地域において様々なイベント開催や活動が活発になってきたこともあり、つなぐプロジェクトの冊子を新しくしました。ぜひ、ご活用ください。

・配付時期と場所

市民活動センターにて

1月下旬、配付予定

・ホームページでもご覧いただけます。

URL <https://shiminkc.wixsite.com/tsunagu-project>



## 団体応援ミニ講座のご案内

センターでは、みなさんの活動を支援するため少人数、予約制のミニ講座を行っています。



### チラシ・リーフレット作成講座

### センターホームページ講座

情報発信のひとつとしてお役立てください。

### ホームページ作成講座

無料で利用できるwix、Jimdoを使って団体独自のホームページを作ります。

### canva活用講座

クラウドデザインツールcanvaの使い方を説明。実際に活動に役立つチラシやプレゼン資料等を作成します。

## 利用承認の申請について

令和6年度の市民活動センターの利用承認期間が令和7年6月30日に満了となります。引き続き施設のご利用を希望される場合は、利用承認手続きを行ってください。

手続きに必要な利用申請書、団体情報確認票等は4月に郵送、またはセンターホームページよりダウンロードできます。書類や提出方法など詳細については、3月配信のメールマガジンをご覧ください。

## ニュースレターつなぐ発行日変更のお知らせ

令和7年度より、年3回、5、9、1月の発行となります(各号15日発行)

## センター日誌より

明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

センター窓口には団体さんだけでなく、「ちょっとお立ち寄り」の方もいらっしやいます。中には常連(?)さんも。その中のお一人は、お仕事の傍ら週末は団体さんを訪ねて活動するというなかなかの強者で、ボランティア活動をいくつも掛け持ちされています。時々、センターにやっぴきまは、近況報告や感想などをお話していただきますが、ちょいボラがいくつも重なると、もはや立派なボランティア。しっかり団体の活動を支えまくらせています。



問い合わせ・申込みは  
市民活動センターまで

発行：浦安市市民活動センター  
2025年1月10日

〒279-8501千葉県浦安市猫実1-1-1(市庁舎10階)

TEL: 047-305-1721 FAX: 047-305-1722

E-mail: [shiminkc@jcom.home.ne.jp](mailto:shiminkc@jcom.home.ne.jp)

URL <http://u-shimin.genki365.net>

